

序

東京女子医科大学第3外科 太田和夫
腎不全外科ことはじめ

かつては「腎不全患者に手術をするなんて以ての外」といわれた。教科書的にもPSPの15分値が10%を割ったら手術はすべきではないなどの記載があったと記憶している。

確かに慢性血液透析が開始された頃は、人工腎臓をつけるためブラッドアクセスの手術は行っていたが、胆石などがたまたま発見されても、これを手術しようという気にはなれなかった。

筆者が慢性透析患者にブラッドアクセス以外の待期的な手術を行ったのは、当時の薬剤がまったく効かず、窮余の一策として行った両側腎摘が初めてではなかったかと思う。この症例は術後に消化管出血を起こして大変難渋し、透析患者の手術は大変だという思いを強くした。

東京女子医科大学では1971年6月から腎移植手術を開始した。この頃になると透析によるコントロールもかなり良好となり、また移植の場合は術中より利尿がつくため、麻酔薬、筋弛緩薬などの影響も比較的早く消失し、この程度であれば何とかするという自信が湧いてきた。

考えてみれば透析者も移植者も従来は存在しえなかった人達である。

そういった意味からいえばまさに新人類である。これらの人達の多くはブラッドアクセスの手術か、ないしはCAPD用のカテーテルを植え込む手術を受けることが必須であり、この面についての十分な研究、討論をすることがまず大切となろう。しかしそれ以外にも、長期透析患者に頻発する合併症である二次性上皮小体機能亢進症や、透析アミロイドーシスによる手根管症候群、バネ指、骨

嚢胞などに対する手術についても、各科の知恵を持ち寄り検討する必要性が生じてきた。また悪性腫瘍に罹りやすい条件を備えているため、胃癌、大腸癌、肝臓癌などで手術を受ける頻度が一般人より高くまた動脈硬化が早期に強く起こり冠動脈のバイパス手術も盛んに行われるようになったことなどから、その適応、術後管理を含め外科系、内科系の共同作業がますます重要になってきている。

このような背景から、小児について小児外科が必要であるように、透析患者についてはその維持のためのプラッドアクセスの外科はもとより、腎不全患者の一般外科が必要となることは当然といえよう。その発展、普及のためには、まず腎不全の治療に携わっている内科系、外科系の医師が、一般外科、消化器外科、胸部外科のみならず、整形外科、眼科の医師などと一緒に討論できる場を作らなければならない。この問題を何とかしなければと、ここ 10 年以上にわたって考えていたが、日常の業務に忙殺され、なかなか会を発足させることができなかった。

そうこうしているうちに透析アミロイドーシスの急増から骨・関節に疼痛を訴える患者が増加し、整形外科と相談することが多くなった。もうこの辺で何とかしなければと臍を固め、準備不足ではあったが諸氏のご協力により 1992 年 6 月 13 日に興和大ホールを借用して第 1 回の腎不全外科研究会をもつことができた。

本誌は当日の発表論文で投稿されたものを中心とし、上皮小体機能亢進症、プラッドアクセス、冠動脈の外科、眼科領域などについての臨床経験をふまえた総説と、腎不全患者の一般外科をめぐる諸問題についての座談会を加えまとめたものである。是非ご一読をおすすめしたい。

このような腎不全患者をめぐる医療の質的向上は、各方面からの力を合わせてはじめて達成されるものであろう。腎不全外科研究会の今後の発展に期待するところが大きい。

なお、第 2 回の研究会は白鷺病院院長山川眞先生を会長に、平成 5 年 6 月 19 日、大阪・千里ライフサイエンスセンターにおいて開催される予定になっている。多数の方々のご参加を希望している。

目次

序・腎不全外科ことはじめ	太田和夫	5
総説		
アミロイド骨関節症の成因と外科的治療	新潟大学整形外科 谷澤 龍彦,他	8
プラッドアクセスの診かた考えかた—プラッドアクセス診察法—	太田和夫	13
透析患者に対する PTCA と CABG	東京女子医科大学循環器外科 遠藤 真弘,他	18
眼科医からみた透析医への提言	社会保険中京病院眼科 市川 一夫,他	24
座談会		
腎不全患者の外科手術をめぐる一外科の立場から、内科の立場から		31
司会	太田和夫	東京女子医科大学第 3 外科
出席者…(発言順)	寺岡慧	東京女子医科大学第 3 外科
	富永芳博	名古屋第二赤十字病院移植外科
	川真田美和子	東京女子医科大学麻酔科
	斎藤明	新生会第一病院
	秋澤忠男	昭和大学藤が丘病院内科
臨床経験		
腎性上皮小体機能亢進症手術における前腕上皮小体自家移植腺		
再発症例の検討	掛川市立総合病院移植外科 佐藤 圭介,他	50
外頸静脈吻合による内シャント再建方法、特に		
上腕部 E-PTFE グラフト閉塞に対して	蒼龍会井上病院外科 池田廣重,他	52
CAPD における手術的合併症	小松島赤十字病院外科 泉純子,他	54
開腹手術における術中・術後管理—輸液管理を中心として—		

.....あかね会土谷総合病院人工臓器部 福田敏勝,他 56

福岡赤十字病院における透析患者の消化管手術症例の検討

..... 福岡赤十字病院 飛松正則,他 58

慢性腎不全患者における胃癌症例の検討.....名古屋第二赤十字病院 幅俊人,他 60

慢性透析患者に対する下部消化管スクリーニング検査の試みとその成績

.....仁真会白病院腎センター 金 昌雄,他 62

透析患者における虚血性腸炎の 10 例桃仁会病院泌尿器科 橋本哲也,他 64

透析患者における大腸手術症例の検討

.....東京女子医科大学第 3 外科 中島一朗,他 66

透析腎に発生した腎細胞癌手術例 14 例についての検討

.....善仁会横浜第一病院 日台英雄,他 68

ACDK の嚢胞破裂による後腹膜腔出血...社会保険中京病院泌尿器科 竹内宣久 71

移植腎摘出術:適応と方法.....済生会八幡総合病院腎センター 池田哲夫,他 73

根管症候群,破壊性脊椎関節症,骨嚢腫様病変の外科的治療

.....九州中央病院整形外科 内藤正俊,他 75

症例報告・看護

塞栓術で止血し得た血液透析患者の十二指腸出血の 1 例

.....甲南病院人工腎臓部 宮崎哲夫,他 78

腎臓部血液透析患者に発症した異時性多発早期胃癌

.....蒼龍会井上病院外科 山根歳章,他 80

血液透析患者の肝細胞癌に対する 2 手術例.....東和病院外科 野崎治重,他 81

総胆管拡張症根治術を行った糖尿病性腎症透析患者の 1 例

.....健和会病院内科 熊谷悦子,他 83

石灰化を手がかりに発見された CAPD 患者の腎細胞癌の 1 例

・・京都第一赤十字病院泌尿器科 岩本則幸,他 84

慢性腎不全患者に生じた膀胱癌の2例・・・・香川医科大学泌尿器科 藤田潔,他 85

腎・尿管・膀胱全摘除を要した膀胱腫瘍の1透析症例

・・・・・・桃仁会病院泌尿器科 橋本哲也,他 87

慢性透析患者に発生した外傷性両側精巣脱出賞に1例

・・・・富山医科薬科大学泌尿器科 酒本 護,他 89

膀胱腫瘍と左尿管腫瘍を併発した透析患者の術後看護の検討

・・・社会保険中京病院泌尿器科病棟 石坂順子,他 90